

(1時間: 45分)

	授 業 科 目	必須/選択の別	学年	標準時間数
11510	HTML演習	必須	2	30
11640	オブジェクト指向設計	〃	2	60
11700	Webアプリケーション開発	〃	2	90
13360	データベース応用	〃	2	30
13410	ネットワーク設計とクラウド	〃	2	60
13630	フロント開発技術	〃	2	30
13760	SEA/J基礎	〃	2	60
14290	実践システム開発演習	〃	2	30
14335	Python応用	〃	2	90
14360	企画と提案	〃	2	30
小計				510
98114	総合情報処理1－2 (レベル2)	必須選択 ※1	2	60
98115	総合情報処理1－2 (レベル3)	〃	2	60
98116	総合情報処理1－2 (レベル4)	〃	2	60
99102	自主課題研究1－2	〃	2	60
98121	総合情報処理2 (レベル2)	〃	2	150
98122	総合情報処理2 (レベル3)	〃	2	150
98123	総合情報処理2 (レベル4)	〃	2	150
99103	自主課題研究2	〃	2	150
98131	総合情報処理3－1 (レベル2)	〃	2	100
98132	総合情報処理3－1 (レベル3)	〃	2	100
98133	総合情報処理3－1 (レベル4)	〃	2	100
99104	自主課題研究3－1	〃	2	100
11750	Webアプリケーション開発総合演習	必須選択A ※2	2	120
14110	AIの活用と開発手法	〃	2	30
13420	AWSクラウド技術	必須選択B ※2	2	60
14320	PaaS環境構築演習	〃	2	90
小計				460
必須科目計				970

※1 必須選択は、各太枠内から1科目選択する。

※2 必須選択A、Bは、A群またはB群のすべての科目を選択する。

HCS共通行事				外部資格試験				システムエンジニア科 2年			
4		1	火	前期授業開始				HTML演習			
		3	木	HIU入学式(新入生)			* 例年実施される月または実施予定日で記入してあります。	データベース応用			
		4	金	入学式(新入生)				SEA/J基礎			
		7	月	オリエンテーション・防犯講話(新入生)				オブジェクト指向設計			
		8	火	授業開始・オリエンテーション(新入生)				企画と提案			
		21	月	健康診断(4/24まで)				ネットワーク設計とクラウド			
		22	火	G-DREAMS	20	日	情報処理技術者試験	Webアプリケーション開発			
5				ボウリング大会				就職対策1			
		7	水	新入生保護者会 5/16 まで							
								【選択科目1】			
								総合情報処理1-2(レベル2～4)			
								自主課題研究1-2			
								【選択科目2】			
				ボウリング大会				総合情報処理2(レベル2～4)			
6	前期	10	火	運動会				自主課題研究2			
					8	日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験				
7		17	火	献血				【資格試験】 ・基本情報技術者試験 ・情報セキュリティマネジメント試験 ・応用情報技術者試験（基本情報技術者試験取得者） ・高度種技術者試験（応用情報技術者試験取得者） ・情報活用試験（3級・2級・1級） ・情報システム試験（プログラマ認定・システムエンジニア認定） ・SEA/J Certified Security Basic Master			
							情報活用試験				
					13	日	マルチメディア検定				
					27	日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験				
8		26	土	夏休み 8/19まで							
		20	水	夏休み明け授業開始							
9											
		5	金	学園祭							
		25	木	TGS2025 9/28まで							
						情報システム試験					
10		1	水	後期授業開始(専門学校コース)				就職対策1			
					12	日	情報処理技術者試験	フロント開発技術			
								実践システム開発演習			
								Python応用			
								AIの活用と開発手法 [システム開発系]			
								Webアプリケーション開発総合演習 [システム開発系]			
								PaaS環境構築演習 [ITインフラ系]			
11							AWSクラウド技術 [ITインフラ系]				
		10	月	映画鑑賞 11/12まで							
		28	金	保護者会(次年度卒業学年) 11/29まで	30	日	マルチメディア検定				
12	後期							【選択科目1】			
					7	日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験	総合情報処理2(レベル2～4)			
								自主課題研究2			
1	1期							【選択科目2】			
		13	火	冬休み明け授業開始				総合情報処理3-1(レベル2～4)			
		21	水	就職健康診断(1/23まで)	25	日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験	自主課題研究3-1			
2								【資格試験】 ・基本情報技術者試験 ・情報セキュリティマネジメント試験 ・応用情報技術者試験（基本情報技術者試験取得者） ・高度種技術者試験（応用情報技術者試験取得者） ・Python3エンジニア認定基礎試験(システム開発系) ・AWS認定クラウドプラクティショナー (ITインフラ系)			
		20	金	卒業学年授業終了							
3							情報システム試験				
		27	金	進級学年授業終了							
		11	水	卒業式							
		18	水	HIU学位記授与式							

科目番号：S-20423

科 目 名			時間数(90 分)			
HTML 演習			講 義	演 習	実 習	合 計
				15		15
科 目 概 要	インターネットを通じて日常的に利用している Web ページのしくみを学ぶ。また、様々な利用者がいることを想定し、使いやすい Web ページとはどういうものかを考察する。その後、作成を通じて理解する。					
学 習 到 達 目 標	HTML, CSS, JavaScript の基本的な機能を理解し、デザインを意識した Web ページを作成できる。作成の際には専用エディタを使用し、効率的な Web ページ制作を行うことができる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	導入 ・環境構築 ・科目の目的		11	ポートフォリオを作ろう	
	2	HTML の仕組み		12		
	3	画像の表示		13		
	4	リンクの指定		14		
	5	文章構造とレイアウト		15	まとめ	
	6	CSS				
	7					
	8	テーブル				
	9	フォーム				
	10					
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		世界一わかりやすい HTML&CSS コーディングとサイト制作の教科書		技術評論社		
副教材						
実 習 環 境	エディタ (Visual Studio Code)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-21912

科 目 名			時間数(90 分)				
オブジェクト指向設計			講 義	演 習	実 習	合 計	
			10	20		30	
科 目 概 要	プログラムで実現したいこと（正解）に辿り着くためのオブジェクト指向による考え方を学び、オブジェクト指向の本質的な理解を目指す。 前半では、カプセル化、継承、多態性にフォーカスし、単元ごとの演習課題では実際に手を動かしたり、考えたりすることで、オブジェクト指向でゼロからプログラムを作成する力を身につける。 後半では、顧客の要求から要件定義を作成する手順や仕様を決定する方法について、講義と演習問題を通してシステム設計に必要なスキルを習得する。						
学 習 到 達 目 標	・オブジェクト指向のメリットを理解し、プログラムに反映できる。カプセル化、継承、多態性の機能を用いたプログラムを作成できる。 ・オブジェクト指向によるシステム設計の手順や手法を習得し、システム設計の成果を、UMLを使って具現化できる技術を身に付ける。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1 2	環境構築 Java 復習		21	オブジェクト指向開発の概要		
	3 4	インスタンスとクラス		22	ユースケース図		
	5 6	コンストラクタと静的メンバ		23	クラス図		
	7 ～ 9	カプセル化		24	オブジェクト図		
	10 11	継承		25	シーケンス図		
	12 13	高度な継承		26	コミュニケーション図		
	14 15	多態性		27	その他のUMLの図について①		
	16 17	例外処理		28	その他のUMLの図について②		
	18 19	コレクションクラス		29	ここまでのまとめ		
	20	課題提出		30	筆記試験		
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
		主教材	スッキリわかる Java 入門 第4 版		インプレス		
副教材							
実 習 環 境	エディタ (Visual Studio Code)						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (50%) ・筆記試験 (50%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可			

科目番号：A-22071

科 目 名			時間数(90 分)			
Web アプリケーション開発			講 義	演 習	実 習	合 計
				45		45
科 目 概 要	Web アプリケーションの仕組みや作成方法、データベースとの連携方法を学習する。MVC モデルやデザインパターンを活用したプログラム構成で簡単な Web アプリケーションを構築する。 なお、本科目は IT 企業でシステム開発にかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	Web アプリケーションを構築できる。また、JDBC を使ったデータベースアクセスのプログラムを実装できる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1 2	・ 講義 1. Web アプリケーションとは 2. 最終課題の提示 ・ 環境構築 エディタ		30 ～ 33	・ 講義 セキュリティ ・ ログイン 1. 認証・認可 2. 入力チェック	
	3 ～ 9	・ Web アプリケーションの仕組み 1. リクエスト／レスポンス 2. Spring の仕組み DI・Thymeleaf 3. Maven		34 ～ 44	・ Web アプリケーション作成 提示されたテーマを元にしたアプリケーションの作成 ・ 課題提出	
	10 ～ 23	・ 講義 WebAPI アクセス ・ WebAPI 1. HTTP Request 2. JSON		45	・ 講義 1. 触れなかった機能の紹介 2. 科目のまとめ	
	24 ～ 29	・ 講義 1. スコープ 2. MVC モデル 3. DB アクセス ・ DB 1. Beans 2. JDBC / SQL				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	改訂新版 Spring Framework 超入門 やさしくわかる Web アプリ開発		技術評論社		
実 習 環 境	エディタ (Visual Studio Code)					
	Java フレームワーク (Spring Boot)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・ 課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：S-20862

科 目 名			時間数 (90 分)			
データベース応用			講義	演 習	実 習	合 計
			5	10		15
科 目 概 要	リレーショナル・データベースの基本概念を理解するとともに、SQL を使用したデータベースの基本的な操作方法を身につける。					
学 習 到 達 目 標	リレーショナル・データベースの基本概念について説明でき、SELECT 文を使用した表の行と列のデータ取得、ソートしたデータや制限したデータのレポート作成が行えるようになる。また、データ操作言語 (DML) 文の実行によるデータの更新が行えるようになる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	イントロダクション 環境構築		10 ～ 11	副問合せ	
	2 ～ 3	検索の基本		12	集合演算子	
	4 ～ 5	行の制限とソート		13 ～ 14	データの追加、更新、削除	
	6 ～ 7	集約関数		15	筆記試験	
	8 ～ 9	結合				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	SQL 第 2 版 ゼロからはじめるデータベース操作		翔泳社		
	副教材					
実 習 環 境	エディタ (Visual Studio Code)					
	データベース (postgresql)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・ 筆記試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：S-22081

科 目 名			時間数(90 分)			
ネットワーク設計とクラウド			講 義	演 習	実 習	合 計
			10	20		30
科 目 概 要	前半では、ネットワーク構築のために必要な基礎理論を学び、ネットワークの設計方法を習得する。 後半では、クラウドサービス全般の知識について、実習を通して習得する。					
学 習 到 達 目 標	アドレス計算ができるようになり、実際のネットワークに割り当てることができるようになる。また、ルーティングの仕組みを理解し、効率の良いネットワークを設計・構築できるようになる。クラウドサービスにおいては用語を理解し、実際にAWSを活用してネットワークを構築できるようになる。 最終的には、応用情報技術者のネットワーク・システムアーキテクト系の問題が解けるようになる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	オリエンテーション ・科目概要の説明 LAN の構成 ・LAN		16	AWS の特徴 ・クラウドの特徴 ・AWS でできること	
	2	インターネットの構成 ・インターネット ・ネットワークアーキテクチャ		17	AWS のセキュリティ ・安全に作業するために	
	3	IP アドレス		18	ネットワークサービス ・VPC	
	4	・IP アドレス ・サブネットマスク		19		
	5	DNS		20	コンピュータサービス ・EC2	
	6	・DNS による名前解決		21	データベースサービス ・RDS	
	7	TCP と UDP ・ポート番号		22		
	8	TCP/IP の設定		23	ストレージサービス ・S3	
	9	・デフォルトゲートウェイ ・DHCP、通信確認		24		
	10	スイッチとルータ ・ARP テーブル ・ルーティングテーブル		25	モニタリングと分析サービス ・CloudWatch	
	26			料金とサポートサービス ・コスト確認 ・見積り		
	27					
	13	ネットワークのまとめ		28	AWS のまとめ	
	14			29		
15	中間試験		30	最終試験		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	AWS ではじめるインフラ構築入門 第2版 安全で堅牢な本番環境の作り方		翔泳社		
	副教材	配布教材				
実 習 環 境	AWS Academy Learner Lab					
	AWS Skill Builder					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%) 中間試験 期末試験			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：S-21051

科 目 名			時間数(90 分)			
フロント開発技術			講 義	演 習	実 習	合 計
				15		15
科 目 概 要	Web アプリケーションを開発する上で必要となる JavaScript について、講義・演習・実習課題を通して基本文法から動的な Web ページの開発方法までを習得する。					
学 習 到 達 目 標	Web アプリケーションの構築や開発を望む企業に対し、JavaScript と HTML5 を使用しより良い解決方法を提案できる開発手法を身に付ける。 JavaScript と Bootstrap を活用して、見栄えのする動的な Web ページを作成する技術を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	イントロダクション(環境構築など)				
	2	アウトプットの基本				
	3 ～ 4	Bootstrap 入門				
	5 ～ 6	JavaScript の文法と基本的な機能				
	7 ～ 8	インプットとデータの加工				
	9 ～ 12	動的な Web ページの作成				
	13 ～ 14	外部データを活用したアプリケーション				
	15	成果物提出				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		確かな力が身につく JavaScript 「超」入門 第2 版		SB クリエイティブ		
副教材						
実 習 環 境	エディタ (Visual Studio Code)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-21061

科 目 名				時間数(90 分)				
S E A／J 基礎				講 義	演 習	実 習	合 計	
				30			30	
科 目 概 要	情報セキュリティ全般の知識について、S E A／J 基礎コースの講義と模擬問題を通して習得する。 なお、本科目は IT 企業でネットワークとセキュリティにかかわるシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。							
学 習 到 達 目 標	S E A／J 基礎（C S B M）資格を取得し、企業等でセキュリティ・リーダーとなる基礎知識を習得する							
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容			
	1	情報セキュリティマネジメント		16	マルウェア			
	2			17				
	3	物理的セキュリティ		18	暗号技術			
	4	人的セキュリティ		19				
	5	ネットワークのアクセスコントロール		20	電子署名			
	6			21				
	7	ネットワークセキュリティ		22	公開鍵基盤(PKI)			
	8			23				
	9			24	法令・企画			
	10	25						
	11	認証	26	資格試験対策				
	12	27						
	13	アクセスコントロール	28					
	14	ソフトウェアの脆弱性	29					
	15	中間試験	30	最終試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社				
	主教材	情報セキュリティ技術認定 基礎コーステキスト			S E A／J			
	副教材	SEA/J情報セキュリティ技術認定テキスト 基礎編問題集 A			S E A／J			
		SEA/J情報セキュリティ技術認定テキスト 基礎編問題集 B			S E A／J			
実 習 環 境								
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体				
	情報セキュリティ技術認定 基礎（C S B M）			S E A／J				
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構				
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構				
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構				
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可				

科目番号：S-21081

科 目 名			時間数(90 分)			
実践システム開発演習			講 義	演 習	実 習	合 計
～株式会社SCCによる職業実践専門課程 企業連携演習授業～			6	9		15
科 目 概 要	システム開発の上流工程（要件定義、基本設計）について、5～6名のプロジェクトチームによるグループワーク形式での演習を通して、上流工程の一連の流れについて習得する。 なお、本科目は現役のシステムエンジニアが、実務経験に基づく幅広い知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	企業連携授業による実際のシステム設計を体験し、システムエンジニアとしてシステムの構築方法やユーザーとの関わり方を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	システム開発工程		14	成果発表会	
	2	提案依頼書(RFP)		15	まとめ・総評	
	3	要件定義				
	4	演習（要件定義）				
	5	基本設計				
	6	演習（論理DB設計、スケジュール、画面レイアウト）				
	7	基本設計書				
	8					
	9	演習（基本設計書）				
	10	・基本設計書				
	11	・成果発表会資料				
	12	・リハーサル				
	13					
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	実践システム開発演習		SCC		
	その他	名刺、日報用紙、議事録用紙、基本設計書、発表タイトル				
実 習 環 境	Microsoft Office Word 2021					
	Microsoft Office Excel 2021					
	Microsoft Office PowerPoint 2021					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・グループ評価（50%） 評価シート（インターンシップ会社評価） ・個人評価（50%） 別途定める評価シートに基づく			＜評価基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：S-21071

科 目 名			時間数(90 分)			
Python 応用			講 義	演 習	実 習	合 計
				45		45
科 目 概 要	AI サービスの開発に利用されている Python について、実習を通して言語の基礎知識を学び、基本文法～ディープラーニング等のプログラミング技術を習得する。					
学 習 到 達 目 標	・ Python を使った簡単なプログラムが作成できるようになる ・ AI プログラミングの基礎力を身に付ける					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	科目概要 イントロダクション 開発環境構築		14	無名関数	
	2	計算処理		15 ～ 16	オブジェクト指向	
	3	変数		17 ～ 27	プログラミング実習 オリジナルアプリ開発	
	4	文字列操作		28	中間提出	
	5	入力処理		29 ～ 30	例外処理 オリジナルアプリ開発（機能拡張）	
	6	リスト型		31 ～ 34	標準ライブラリ オリジナルアプリ開発（機能拡張）	
	7	条件分岐		35 ～ 37	ファイル処理 オリジナルアプリ開発（機能拡張）	
	8	繰り返し		38 ～ 42	機械学習・ディープラーニング オリジナルアプリ開発（機能拡張）	
	9	辞書型		43	成果物提出	
	10	集合型・タプル型		44	模擬試験	
	11	内包表記		45	科目試験	
	12 ～ 13	関数				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		わかる Python[決定版]		SB クリエイティブ		
副教材						
実 習 環 境	エディタ (Visual Studio Code)					
	Python 開発環境 (Anaconda)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	Python 3 エンジニア認定基礎試験			一般社団法人 Python エンジニア育成 推進協会		
成 績 評 価 方 法	・ 科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-50302

科 目 名			時間数(90 分)			
企画と提案			講 義	演 習	実 習	合 計
			5	10		15
科 目 概 要	提案書作成という課題を通して、決められたテーマについて「考え」「話し合い」「プレゼンテーション」を行うことで、企画や提案を実現に結びつけるための考え方と技法を習得する。					
学 習 到 達 目 標	企画、提案の基本的な考え方を理解するとともに、導き出したアイディアを提案書としてまとめ、訴求力のあるプレゼンテーションによって聴衆に提案内容を理解させることができる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	アイディア出し				
	2	デザイン演習				
	3					
	4					
	5					
	6	アイディアの発散と集約				
	7	アプリコンセプトの決定				
	8	提案書作成				
	9					
	10	プレゼン準備				
	11					
	12					
	13	提案（プレゼンテーション）				
	14					
	15	まとめ				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	初心者からちゃんとしたプロになる Figma 基礎入門		MdN Corporation		
	副教材					
実 習 環 境	Figma					
	Google Workspace					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出（100%）			＜評価基準＞ 100～80 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20521

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-2（レベル 2）			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 1-1 レベル 2 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-2	サービスマネジメント／システム監査				
	3	システム戦略／システム企画				
	4-6	経営戦略マネジメント／技術戦略マネジメント／ビジネスインダストリ				
	7-12	企業活動／法務				
	13-15	模試 3				
	16-18	弱点補強 3				
	19-22	弱点補強 言語系				
	23-26	弱点補強 設計系				
	27-30	国家試験				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		各コースで選定された対策テキスト				
副教材						
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・ 科目試験（100％）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20531

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-2 (レベル 3)			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 1-1 レベル 3 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-6	AM対策				
	7-13	PM対策				
	14-16	模擬試験 1				
	17-20	弱点補強 1				
	21-23	模擬試験 2				
	24-30	弱点補強 2				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点：秀		
				89～80 点：優		
			79～70 点：良			
			69～60 点：可			
			59 点以下：不可			

科目番号：A-20541

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-2 (レベル 4)			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 1-1 レベル 4 の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	AM対策				
	2-4	模擬試験 2				
	5-10	模擬試験 2 解説				
	11	AM対策				
	12-14	模擬試験 3				
	15-20	模擬試験 3 解説				
	21-27	弱点対策				
	28-30	国家試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科 目 名			時間数(90 分)			
自主課題研究 1-2			講 義	演 習	実 習	合 計
				30		30
科 目 概 要	自主課題研究 1-1 の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を 1 作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-30	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：A-20561

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 2 (レベル 2)			講 義	演 習	実 習	合 計
			75			75
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-5	ガイダンス、基礎理論		57-58	サービスマネジメントとシステム監査	
	6-15	アルゴリズムとプログラミング		59	システム戦略と企画	
	16-20	コンピュータ構成要素		60-61	戦略マネジメント	
	21-22	システム構成要素		62-66	企業活動と法務	
	23-26	ソフトウェア/ハードウェア		67-68	模試 3	
	27	ヒューマンインタフェース/マルチメディア		69-72	弱点補強 3	
	28-29	模試 1		73-75	国家試験	
	30	弱点補強 1				
	31-35	データベース				
	36-44	ネットワーク/セキュリティ				
	45-49	システム開発技術				
	50-51	模試 2				
	52	弱点補強 2				
	53-54	ソフトウェア開発管理技術				
	55-56	プロジェクトマネジメント				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		各コースで選定された対策テキスト				
副教材						
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20571

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 2 (レベル 3)			講 義	演 習	実 習	合 計
			75			75
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス		68-70	模擬試験 3	
	2-4	コンピュータ科学基礎		71-72	弱点補強 3	
	5-7	コンピュータアーキテクチャ		73-75	国家試験	
	8-10	基本ソフトウェア				
	11-15	通信ネットワーク				
	16-20	データベース				
	21-25	ソフトウェア工学				
	26-30	システム構成技術				
	31-35	マネジメント				
	36-44	AM対策				
	45-53	PM対策				
	54-56	模擬試験 1				
	57-60	弱点補強 1				
	61-63	模擬試験 2				
	64-67	弱点補強 2				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20581

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 2 (レベル 4)			講 義	演 習	実 習	合 計
			75			75
科 目 概 要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス		52-54	模擬試験 3	
	2-3	情報セキュリティ		55-60	模擬試験 3 解説	
	4	リスクマネジメント		61-72	弱点対策	
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策		73-75	国家試験	
	13-15	ネットワークセキュリティ				
	16-18	電子メール、Web アプリケーション				
	19-26	認証技術				
	27-30	情報セキュリティマネジメント				
	31	AM対策				
	32-34	模擬試験 1				
	35-40	模擬試験 1 解説				
	41	AM対策				
	42-44	模擬試験 2				
	45-50	模擬試験 2 解説				
	51	AM対策				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20591

科 目 名			時間数(90 分)			
自主課題研究 2			講 義	演 習	実 習	合 計
				75		75
科 目 概 要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1 作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-3	学習テーマ設定				
	4-75	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 1 (50%) ・課題提出 2 (50%)			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：A-20601

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 3-1 (レベル 2)			講 義	演 習	実 習	合 計
			50			50
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-5	ガイダンス、基礎理論				
	6-13	アルゴリズムとプログラミング				
	14-17	コンピュータ構成要素				
	18-19	システム構成要素				
	20-24	ソフトウェア／ハードウェア				
	25	ヒューマンインタフェース／マルチメディア				
	26-27	模試 1				
	28	弱点補強 1				
	29-33	データベース				
	34-40	ネットワーク／セキュリティ				
	41-43	システム開発技術				
	44-45	模試 2				
	46	弱点補強 2				
	47-48	ソフトウェア開発管理技術				
	49-50	プロジェクトマネジメント				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		各コースで選定された対策テキスト				
副教材						
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20611

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 3-1（レベル 3）			講 義	演 習	実 習	合 計
			50			50
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3）」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-4	コンピュータ科学基礎				
	5-8	コンピュータアーキテクチャ				
	9-12	基本ソフトウェア				
	13-18	通信ネットワーク				
	19-24	データベース				
	25-28	ソフトウェア工学				
	29-32	システム構成技術				
	33-38	マネジメント				
	39-40	AM対策				
	41-44	PM対策				
	45-47	模擬試験				
	48-50	弱点補強				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20621

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 3-1（レベル 4）			講 義	演 習	実 習	合 計
			50			50
科 目 概 要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-3	情報セキュリティ				
	4	リスクマネジメント				
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策				
	13-15	ネットワークセキュリティ				
	16-18	電子メール、Web アプリケーション				
	19-26	認証技術				
	27-30	情報セキュリティマネジメント				
	31	AM対策				
	32-34	模擬試験 1				
	35-40	模擬試験 1 解説				
	41-49	弱点対策				
	50	科目試験				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		各コースで選定された対策テキスト				
副教材						
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20631

科 目 名			時間数(90 分)			
自主課題研究 3-1			講 義	演 習	実 習	合 計
				50		50
科 目 概 要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-3	学習テーマ設定				
	4-50	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-22091

科 目 名			時間数(90 分)			
Web アプリケーション開発総合演習			講 義	演 習	実 習	合 計
				60		60
科 目 概 要	本科目の実施前に学習した技術（HTML、JavaScript、Spring Boot、データベースなど）を駆使して、Web アプリケーションを構築する。 機能を限定したプロトタイプアプリをハンズオン形式で作成する中で、実際のシステム開発の現場でも使う開発手法や実装方法について学ぶ。開発作業は、3～4 人のチームでソース共有をしながら実施する。 なお、本科目は IT 企業でシステム開発にかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	・ 普段利用する Web アプリケーションを意識して機能仕様を考え、実装できる。 ・ チーム開発のメリットを理解し、協力して Web アプリケーションを構築できる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	1. 演習内容の説明 2. 開発環境構築 ・ アプリ ・ データベース		20 ～ 31	チーム開発 1 週目	
	2 ～ 6	フロントエンド技術の理解 ※前提科目の復習を含む プレゼンテーション層 1. HTML / CSS / Bootstrap 2. JavaScript		32 ～ 43	チーム開発 2 週目	
	6 ～ 15	バックエンド技術の理解 ※前提科目の復習を含む アプリケーション層 1. Spring Boot 基礎 2. Spring Security データベース層 SQL		44 ～ 55	チーム開発 3 週目	
	16	アプリケーション開発手法 ・ アジャイル型開発		56 ～ 59	納品 ・ リファクタリング	
	17 ～ 19	チーム開発手法 ・ ソース共有		60	まとめ	
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	改訂新版 Spring Framework 超入門 やさしくわかる Web アプリ開発		技術評論社		
実 習 環 境	エディタ (Visual Studio Code, Eclipse)					
	Java フレームワーク (Spring Boot)					
	バージョン管理 (GitHub)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・ 課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号 : A-51131

科 目 名			時間数(90 分)			
AI の活用と開発手法			講 義	演 習	実 習	合 計
			9	3	3	15
科 目 概 要	AI（人工知能）の「しくみ」「活用法」「利点・欠点」について、事例や演習・実習を通して AI 関連システムの開発に必要な知識を学習する。					
学 習 到 達 目 標	AI の基礎知識と現状を理解し、将来に向けた最適な AI の提案とシステム構築への応用力を身につける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	AI の歴史		16		
	2	AI の発展過程		17		
	3	AI のビジネス活用		18		
	4	AI にできること		19		
	5	機械学習		20		
	21					
	7	ニューラルネットワーク		22		
	8	ディープラーニング（深層学習）		23		
	9	AI の実例（顔検出）		24		
	10	AI の実例（物体検出）		25		
	11	AI の実例（まとめ）		26		
	12	AI の実装手段		27		
	13	AI の発達と影響を受ける産業		28		
	14	AI の将来		29		
	15	科目試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	AI の活用と開発手法（学習ノート）		SCC		
	副教材	実習用配布教材				
実 習 環 境	VirtualBox + Linux 仮想マシン					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	IT パスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：S-21992

科 目 名			時間数(90 分)			
AWSクラウド技術			講 義	演 習	実 習	合 計
			10	20		30
科 目 概 要	AWSクラウドサービス全般の知識について、AWS基礎講義と演習問題を通して習得する。					
学 習 到 達 目 標	ネットワークの仕組みやクラウドサービス用語、特にAWS用語を理解する。 また、AWS認定クラウドプラクティショナー資格取得に向け、サービスの知識を習得する。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1 2	AWS 認定試験について ・CloudQuest		14	・[認定対策]マネジメントサービス	
	3	・[認定対策]グローバルインフラストラクチャ		15	・[認定対策]料金とサポート	
	4	・[認定対策]コンピューティングサービス		16 17	・[認定対策]移行とイノベーション	
	5 6	・[認定対策]ネットワークとコンテンツ配信		18 ～ 20	・[認定対策]AWS Well-Architected	
	7 8	・[認定対策]ストレージサービス		21 22	・その他の用語・知識確認	
	9 10	・[認定対策]データベースサービス		23 ～ 28	・[認定対策]総合演習	
	11 12	・[認定対策]セキュリティサービス		29	・最終試験対策	
	13	・中間試験		30	・最終試験	
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		一夜漬け AWS 認定クラウドプラクティショナー [C02 対応] 直前対策テキスト		秀和システム		
副教材						
実 習 環 境	AWS Academy Foundation					
	AWS Academy Learner Lab					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	AWS 認定 クラウドプラクティショナー			AWS		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%) 中間試験 期末試験			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：S-21022

科 目 名				時間数(90 分)			
PaaS 環境構築演習				講 義	演 習	実 習	合 計
					45		45
科 目 概 要	プラットフォームの作成に関して開発者からどのような開発環境を求められているか確認する知識や手法と、開発環境を提供するための環境構築について具体的な手法を、演習を通して習得する。						
学 習 到 達 目 標	PaaS 環境を構築するために必要なサーバ構築技術及び開発環境で利用される様々なサーバやアプリケーションの知識を身につける。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1	開発環境について		23	アプリケーションのインストール 2		
	2	ネットワーク構成とサーバについて		～			
	3	プラットフォームの構築 1		26			
	～			プラットフォームの構築 4			
	7						～
	8	開発環境の調査					30
	9	開発環境の設計		31	アプリケーションのインストール 3		
	10			～			
	11			33			
	～	プラットフォームの構築 2		34	プラットフォームの構築 5		
	14			～			
	15			37			
	～	アプリケーションのインストール 1		38	アプリケーションのインストール 4		
	17			～			
18	40						
19	プラットフォームの構築 3		41	サーバの稼働率調査、スケールアップとアウトについて			
～			～				
22			45				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社			
	主教材	配布資料					
	副教材						
実 習 環 境	AWS Academy Learner Lab						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可			